



深川社協だより

ふかわ

第 **66** 号
2026.3.1

絵は河野香代美さん（深川1丁目）

■編集発行 深川地区社会福祉協議会広報部会



とんど祭りの日、朝から雪。陰地自治会は天気推移などの検討を重ねた結果、祭りを実施することになりました。午後、今年の年男、年女の皆さんによる点火。その頃は、風も弱くなり今年一年の無病息災を願いながら、参加者は火を囲み交流も深まりました。（〇内は朝の作業の皆さん）

多世代交流はなんだか楽しい

1月に深川保育園で行われた園児の皆さんと触れ合う世代間交流に参加させていただきました。出席者は民生委員や福祉委員そして青少協の皆さん、総勢10名でした。園長先生から園の近況をお聞きした後、各クラスに分かれ、私は「きりん組」（年中組）に案内していただきました。子ども達は元気なあいさつで迎えてくれました。歌を歌ってくれた後の交流。いくつかの遊びの途中、教えられたことがあります。かるたゲームの時です。一人が読み札を読み、他の人は絵札を取ります。そこで私はちよつと聞きづらかったので、左にいた読み手のところに近づいて、その札を見ました。その時です。「だめだよ。見ちゃあ。」と右側の子に注意されました。「そうだった。ごめん」。その時、思いました。みんな一定のルールのもとでゲームや遊びを行っている。読み札を覗いて見るのはやっぱりルールに反すること。子供たちの一生懸命さ、純な心。改めて気づき感心させられました。ゲーム中にある子どもが私の髪を指して「白いね。」と言いました。私は「うん。白いね。」と笑いました。思ったこと、感じたことが素直に発せられる感受性の豊かさ、何か忘れてしまっていた自分の心が暖かくなりました。

参加者全員が元気になる多世代交流の大切さを改めて感じずにはいられないひと時でした。

深川地区社協 山口悦朗

防犯パトロールを実施して

あわただしく日々を送る12月25日の午後、久しく実施していなかった地域の防犯パトロールを行いました。

日頃、生活をしている町ですが、改めて防犯の観点から地域を見れば、防犯上の不具合が目につくのではとの思いからのパトロールです。

実施したのは、安佐北警察署長、及び安佐北防犯組合連合会長から、地域安全推進委員としての役目の委託を受けたメンバーです。

現在は、活動の回数は少ないもののパトロールを通して地域住民の安全意識向上、指導と啓発のキャンペーン、及び、青少年健全育成の一助としてのスポーツ大会運営支援など幅広い活動を行っています。

この度のパトロールは、第2公園、アルソ駐車場、下深川駅付近、亀崎神社境内、ユアース駐車場、老人広場、中深川駅付近、憩いの森公園、第5公園と深川学区内で、人の集まりやすい場所を巡回し



ました。

公園では、子供たちの遊ぶ姿も散見されましたが、多くの場所で人の姿は見られませんでした。駐車場では、放置らしき自転車も見受けられ不安も感じられました。

地域の安全は、住んでいる人の関心から高まります。日ごろの「声掛け」を含め、住んでいる人たちの意識高揚が大切と思います。

パトロールの実施が、

地域の安全のみならず、地域安全推進委員の意欲向上につながるものと思っております。ご案内させていただきました。

深川学区防犯組合長 川端 忠男



赤い羽根共同募金のお礼

令和七年二月三十一日まで赤い羽根共同募金にご協力いただき有難うございました。深川地区においては六十八万四千四百円のご支援を頂き共同募金会へ送金致しましたこと、ご報告申し上げます。

深川地区社会福祉協議会

ふれあいセンターふかわ「ぬくぬく」

においでください

昨年6月から毎月、月末の金曜日に高陽公民館の和室で実施してきた「ぬくぬく」が3月で10回目となります。12月は風づくり工作をしました。また1月は「社協で遊ぼう。未就学児さんいらっしやい。」というテーマで、小さなお子さんと風船や段ボールハウスなどでの自由遊び、手遊び、歌、絵本の読み聞かせなどを、社協の皆さんにやってもらいました。子供さんは3名でしたが、大人を入れて総勢14名が集まって、まさに多世代交流でした。



今まで「ぬくぬく」に参加された方の感想です。「自分の健康について話せた。」「小学校以来の工作うまくなってきた。」「何よりみんなと話せてほっこりした。」「子どもたちが本当に楽しそうだった。」「自分の心配ことを相談できてよかった。」「いろいろな感想を聞くことができました。皆さん同志少しずつつながりができています。」

(深川地区社会福祉協議会)

民生委員・児童委員の
一斉改選について

昨年12月、3年に一度の民生委員・児童委員の全国一斉の改選が行われ、深川地区でも異動がありましたのでお知らせします。

まず3名の方が退任されました。

増井俊博さん(中郷地区)、岩本秀子さん(主任児童委員・深川小学校区担当)、林 孝治(西塚地区)です。後任として石飛哲夫さん(中郷地区)、門傳 悟さん(西塚地区)で、深川小学校区の主任児童委員は欠員となりましたが、岩本秀子さんは狩留家北部地区の協力員として残られます。

その他の地区は変更ありませんが参考までに、戸澤孝子さん(陰地・奥迫地区)、岡崎雅子さん(深川台地区)、榎谷省三さん(院内地区)、山村佳子さん(上庄地区)、小田通子さん(下庄地区)、山村圭司さん(尾和地区)、協力員の谷口つや子さん(尾和地区)も引き続き担当されます。



「民生委員・児童委員」は赤ちゃんからお年寄りまで幅広い年齢層に対して多くの事柄に携わり、日々活動しています。中でも高齢者の方の見守りやお世話は、民生委員の重要な役割のひとつです。

一昨年9月より、深川地域で高齢者の方々が安心して暮らせるよう始めました「深川あんしんネットワーク」での見守り活動に昨年末現在200余名の多くの方が登録されました。社会福祉協議会を中心に民生委員、福祉委員、女性会、福寿会、自治会の皆様と一緒に「あいさつ」や「声かけ」を中心とした見守り活動を行っています。引き続き地域の皆様と一緒に住みよいまちづくりをしていかなければならないと考えています。

今後とも、ご理解とご協力をよろしくお願ひします。

最後になりましたが、この度退任致しました3名に成り代わりまして在任中、地域の皆様にお世話になりましたこと篤くお礼申し上げます。ありがとうございます。

林 孝治



愛のともしび

深川地区社会福祉協議会に対し、福祉事業の活動に役立ててくださると、次の方々から香典返し他のご厚志をお寄せいただきました。皆様の善意に厚くお礼申し上げます。(令和七年七月〜十二月)

- 久都内 凌子 (深川五丁目)
- 松本 公司 (深川三丁目)
- 蔵本 明 (深川七丁目)
- 寺本 信夫 (深川八丁目)
- (受付順 敬称略)

お寄せいただいた募金は深川地区社協福祉事業に役立させて頂いております。

【深川地区社会福祉協議会】
TEL 8244-8501

花いっぱい運動

花いっぱい運動として、中深川駅構内にパンジー他を植えました。どの花も元気よく育っています。



いきいきサロン便り

「みつば会」について

「みつば会」は、中郷・院内・西塚の3地域の高齢者の方を対象に、毎月第3木曜日、高陽公民館のホールで介護予防や健康づくりを通じての参加者同士の交流を深めることを目的として開催しています。

去年は毎回35人から40の方が参加されています。

内容は、認知症予防やフレイル予防のための身体を動かす体操や運動、皆さんから要望の多い昭和時代の懐かしい童謡・歌謡曲を歌ったり二胡や、オカリナ、三味線、また亀崎神社の宮司さんによる尺八演奏と指導を受けました。

身体を動かすこととして、室内でのグラウンドゴルフ、輪投げゲーム、お手玉遊び、包括支援センターの方の認知症予防のビデオ鑑賞と健康体操などです。

また、毎年3月には、卒園前の深川保育園児さんとの遊びを交えた交流会、4月には神田山荘での花見と入浴。12月には景品付きのビンゴゲームと参加者全員の方から「私の健康の秘訣」の発表など、地域の皆さんの理解と協力を得ながら楽しく交流を深めています。

林 孝治



写真は令和7年4月、
神田山荘での花見参加者

ふかわの昔ばなし

ぬた たお きつね
奴田が埜の狐

むかし、中深川村の人で福田村へ嫁に出した人がいたそう。名前は春作さんといったかな？
当時は春や秋の祭り、ごどもの誕生など何事かあると親戚縁者が集まって宴を開くのが常であったそう。

ある年、その娘にこどもが生まれたと知らせがあった。初孫である。春作さん一家は大変喜び早速紅白の餅をつき「入れこ」に入れ車力(大八車)に積んで奴田が埜を越してお祝いに駆けつけたそう。福田の婚家では、里のお父さんがお祝いに来てくれたと「そうめん鯛」「ハすん」など作りたいへんなもてなしであったとか。お祝いのお酒も十分にいただきた暮れ近くに家路についたという。もちろん「入れこ」にお土産の「ちそう」をつめてもらい車力に積んで帰ったことは言うまでもない。

奴田が埜を越して「わっくろ岩」あたりまで帰ったろうか。急にあたりが暗くなり、道も見えなくなった上に車力まで止まってしまつてびくとも動かない。困り果てた春作さん。車力の上に座りキセルで一服しようとしてマッチに火をつけたとたん、急にあたりが明るく道もはっきり見えてきたそう。 「ハーン、狐にやられたか」と車力を力まかせに引き、一目散に我が家に帰ったとか。

深川郷土史研究会

升尾 成美